

## 平成20年12月期 第1四半期 連結決算概要

本日開催の取締役会におきまして、当社の平成20年12月期第1四半期（平成20年1月1日から平成20年3月31日まで）の連結決算を承認いたしましたので、ご報告いたします。

### 連結決算業績ハイライト

	平成19年12月期 第1四半期	平成20年12月期 第1四半期	増減率	平成20年12月期 年間予想	増減率
	百万円	百万円	%	百万円	%
売上高	1,039,793	1,007,538	△ 3.1	4,570,000	+ 2.0
営業利益	207,403	170,830	△ 17.6	770,000	+ 1.8
税引前当期純利益	207,844	166,642	△ 19.8	785,000	+ 2.2
当期純利益	131,250	106,644	△ 18.7	500,000	+ 2.4
	円	円	%	円	%
1株当たり当期純利益：					
基本的	99.28	84.57	△ 14.8	396.50	+ 5.0
希薄化後	99.25	84.56	△ 14.8	—	—

	平成19年12月期 (平成19年12月31日現在)	平成20年12月期 (平成20年3月31日現在)	増減率
	百万円	百万円	%
総資産	4,512,625	4,211,258	△ 6.7
	百万円	百万円	%
株主資本	2,922,336	2,846,767	△ 2.6

(注) 当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づき作成しております。

# 平成20年12月期 第1四半期財務・業績の概況（米国会計基準）

平成20年4月24日

上場会社名 キヤノン株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部・福証・札証

コード番号 7751

URL <http://www.canon.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 御手洗 富士夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 大澤 正宏 TEL (03)3758-2111

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成20年12月期第1四半期の連結業績（平成20年1月1日～平成20年3月31日）

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引当期純利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第1四半期	1,007,538	△3.1	170,830	△17.6	166,642	△19.8	106,644	△18.7
19年12月期第1四半期	1,039,793	+12.6	207,403	+21.9	207,844	+22.6	131,250	+21.2
19年12月期	4,481,346	—	756,673	—	768,388	—	488,332	—

	基本的1株当り 当期純利益		希薄化後1株当り 当期純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第1四半期	84	57	84	56
19年12月期第1四半期	99	28	99	25
19年12月期	377	59	377	53

### (2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
20年12月期第1四半期	4,211,258	2,846,767	67.6	2,257 46
19年12月期第1四半期	4,307,815	2,901,811	67.4	2,231 36
19年12月期	4,512,625	2,922,336	64.8	2,317 39

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年12月期第1四半期	107,489	△189,483	△84,877	707,669
19年12月期第1四半期	152,810	△124,193	△269,594	914,972
19年12月期	839,269	△432,485	△604,383	944,463

2. 平成20年12月期の連結業績予想 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		税引前 当期純利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	2,120,000	△2.2	324,000	△16.7	328,000	△19.2	209,000	△18.1	165	74
通期	4,570,000	+2.0	770,000	+1.8	785,000	+2.2	500,000	+2.4	396	50

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

尚、本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる仮定等については、6ページ「1. 経営成績及び財政状態 (4) 通期の見通し」をご覧ください。

# 1. 経営成績及び財政状態

## (1) 当四半期の概況

平成20年12月期第1四半期の内外の経済を概観しますと、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安の広がりや原油をはじめとする資源価格の高騰などの影響により、先進諸国において減速傾向が鮮明になってきました。米国経済は、住宅投資の落ち込みに加え、個人消費も低迷するなど、低調に推移しました。欧州経済は、高水準のインフレにより個人消費が停滞したほか、設備投資の伸びも鈍化傾向を示し、徐々に減速感が広がりました。アジア経済は、米国経済減速に伴う輸出への影響も懸念されましたが、中国が引き続き高成長を維持し、その他の諸国も総じて順調に拡大しました。また、我が国経済は、米国経済の減速や米ドルに対する急激な円高の影響を受け輸出の伸びが鈍化したほか、先行きの不透明感から個人消費の伸びも力強さを欠いた低い水準に留まりました。

当社関連市場においては、デジタルカメラ市場は、一眼レフタイプ、コンパクトタイプともに価格競争が激しさを増しながらも引き続き拡大しました。オフィスイメージング機器市場は、ネットワーク複合機のカラー化、高機能化の進展により、堅調に推移しました。プリンタなどのコンピュータ周辺機器市場は、レーザビームプリンタではカラー機を中心に需要の拡大が続きました。インクジェットプリンタでは依然、価格を中心とした厳しい競争状況の中、引き続き単機能プリンタから複合機への需要シフトが進みました。また、光学機器市場では、半導体用露光装置の需要が落ち込みを見せる一方、液晶用露光装置は液晶パネルメーカーの設備投資が回復基調を見せ、市場は緩やかに拡大しました。当四半期の米ドル及びユーロの平均為替レートはそれぞれ104.78円及び157.59円と、米ドルは前年同期に比べ約12%の円高水準、ユーロは前年同期並みの水準で推移しました。

このような状況の中、当四半期の連結売上高は、デジタルカメラやカラーネットワーク複合機等が着実に販売台数を伸ばし、海外各地域も現地通貨ベースでは増収を記録したものの、米ドルに対し大幅に円高が進んだことにより、前年同期比3.1%減の1兆75億円となりました。当四半期の売上総利益率は、引き続き新製品の投入やコストダウンに注力したものの、円高の影響及び昨年の4月から実施した償却方法の見直しによる減価償却費の増加に加え、資材価格の高騰の影響を受けたことなどから、前年同期から1.7ポイント悪化し49.6%となりました。この結果、売上総利益は、前年同期から6.3%減少し4,999億円となりました。営業費用は、研究開発費が前年同期から9.1%増加したものの、その他の経費の伸びを抑制し前年同期から0.8%の微増に留まりました。この結果、営業利益は前年同期比17.6%減の1,708億円となりました。営業外収益及び費用は、受取利息の減少や持分法損益の悪化などにより前年同期から46億円悪化しました。以上により、税引前当期純利益は、前年同期比19.8%減の1,666億円となり、当期純利益も18.7%減の1,066億円となりましたが、純利益率は10.6%と2桁台を維持しました。

基本的1株当たり当期純利益は、前年同期に比べ14円71銭減の84円57銭となりました。

## (2) 製品事業別の状況

当四半期の連結業績を事業の区別に概観しますと、事務機事業の内、オフィスイメージング機器は、カラーネットワーク複合機の需要拡大が続く中、普及機の iR C2880 シリーズなどが売上が牽引しましたが、経済環境の悪化を受け米州での売上が全般に低迷したことから 5.9%の減収となりました。コンピュータ周辺機器では、レーザービームプリンタが現地通貨ベースでは着実に増収を記録したものの、円高の影響を大きく受け 3.0%の減収となりました。一方、インクジェットプリンタは、厳しい競合状況の中で、PIXUS MP610 などの家庭向け複合機から FAX 機能を備えたビジネス向け複合機まで幅広く販売台数を伸ばしたほか、消耗品の売上也順調に増加し 6.1%の増収となりました。これらの結果、コンピュータ周辺機器全体の売上高はほぼ前年並みとなりました。ビジネス情報機器は、国内で PC の販売が減少したことなどにより、対前年同期で 7.4%の減収となりました。以上の結果、事務機事業全体では、売上高は前年同期比 3.3%減の 6,918 億円となり、営業利益も主に減収に伴う売上総利益の減少により、前年同期比 7.6%減の 1,632 億円となりました。

カメラ事業においては、一眼レフタイプのデジタルカメラでは、小型軽量ボディの EOS Kiss Digital X やハイアマチュア向けの EOS 40D などを中心に売上が伸びし、これに伴い交換レンズの売上也拡大しました。コンパクトタイプのデジタルカメラもアジアやロシアなどの新興市場の拡大に伴い、順調に売上が伸びました。これらの結果、デジタルカメラ全体の販売台数は前年同期比で約 18%の伸びを示しましたが、カメラ事業全体の売上高は円高の影響を大きく受けた結果、前年同期比 1.6%減の 2,190 億円となりました。また、カメラ事業の営業利益は、円高の影響に加え他社製品の市中在庫の増加を背景とした価格競争の結果、売上総利益率が悪化したことなどから、前年同期比 24.5%減の 457 億円となりました。

光学機器及びその他事業については、液晶用露光装置が需要の回復に伴い売上が伸びたものの、半導体用露光装置は市場縮小の影響を受け低調に推移した結果、前年同期比で 5.1%減の 967 億円となり、営業利益も前年同期から 70.4%減少し 53 億円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当四半期の営業キャッシュ・フローは、減収減益となったこと及び法人税の支払いが増加したことなどにより前年同期から 453 億円減少し、1,075 億円の収入となりました。また、投資キャッシュ・フローは、生産増強などを目的とした積極的な設備投資に加え、ディスプレイの事業化へ向け株式会社日立ディスプレイズの株式を 432 億円で購入したことなどから、前年同期より 653 億円増加し、1,895 億円の支出となりました。これらの結果、フリーキャッシュ・フローは、820 億円の赤字となり、286 億円の黒字であった前年同期から 1,106 億円悪化しました。

一方、財務キャッシュ・フローは、利益配分に関する基本方針に基づき、757 億円の配当を実施したことなどから 849 億円の支出となりました。これらの結果、現金及び現金同等物は、米ドル及びユーロに対する円高による為替換算差額の 699 億円を含め、前期末から 2,368 億円減少し 7,077 億円となりました。

(4) 通期の見通し

第2四半期以降の世界経済を展望しますと、サブプライムローン問題に端を発した金融不安や原油・資源価格の高騰の影響など景気減速リスクにより、先行きの不透明感が高まっております。このような中、先進諸国では当面、減速傾向が続きながらも、年の後半以降には米国などにおける金融政策や景気対策などの効果も現れはじめ、回復に向かうものと想定されます。一方、アジアやロシアなどの新興市場は先進諸国の経済減速の影響を受けながらも、引き続き高成長を見せるものと見込まれます。

当社関連市場においては、デジタルカメラが一眼レフタイプ、コンパクトタイプともに、引き続き拡大するものと見込まれます。また、ネットワーク複合機やレーザービームプリンタではカラー機の需要が拡大するとともに、価格競争の激化や低価格帯の製品への需要のシフトが続くものと思われまます。半導体用露光装置は、市場が当面は縮小する一方、液晶用露光装置は、液晶パネルメーカー各社の大規模投資により順調な回復を見せるものと想定されます。

通期の業績見通しの前提となる第2四半期以降の為替レートにつきましては、主要国の金利政策や政治情勢などの不透明な状況が続くものの、前年同期に比べ米ドルは約15%円高の1米ドル100円、ユーロは約4%円高の1ユーロ157円を想定しております。この為替レートを前提に第1四半期の業績及び経済環境予測などを反映し、通期の業績見通しとして連結売上高は4兆5,700億円に、営業利益は7,700億円に、連結税引前当期純利益は7,850億円に、連結当期純利益は5,000億円に、前回公表からそれぞれ下方修正しております。

【連結業績予想】

中間期（平成20年1月1日～平成20年6月30日） (単位 百万円)

	前回発表 予想(A)	今回修正 予想(B)	増減額 (B-A)	前期実績 (C)	増減率 (B-C)/(C)
売上高	2,230,000	2,120,000	△110,000	2,166,724	△2.2%
営業利益	390,000	324,000	△66,000	388,876	△16.7%
税引前当期純利益	408,000	328,000	△80,000	406,141	△19.2%
当期純利益	256,000	209,000	△47,000	255,183	△18.1%

通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日） (単位 百万円)

	前回発表 予想(A)	今回修正 予想(B)	増減額 (B-A)	前期実績 (C)	増減率 (B-C)/(C)
売上高	4,720,000	4,570,000	△150,000	4,481,346	+2.0%
営業利益	800,000	770,000	△30,000	756,673	+1.8%
税引前当期純利益	820,000	785,000	△35,000	768,388	+2.2%
当期純利益	520,000	500,000	△20,000	488,332	+2.4%

## 2. 連結財務諸表

### (1) 比較連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	平成19年12月期 (平成19年1月1日～ 平成19年3月31日)		平成20年12月期 (平成20年1月1日～ 平成20年3月31日)		増 減 金 額
	金 額	百分 比 %	金 額	百分 比 %	
売 上 高	1,039,793	100.0	1,007,538	100.0	△32,255
売 上 原 価	506,116	48.7	507,673	50.4	1,557
売 上 総 利 益	533,677	51.3	499,865	49.6	△33,812
営 業 費 用					
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	253,344	24.4	249,480	24.7	△3,864
研 究 開 発 費	72,930	7.0	79,555	7.9	6,625
計	326,274	31.4	329,035	32.6	2,761
営 業 利 益	207,403	19.9	170,830	17.0	△36,573
営 業 外 収 益 及 び 費 用					
受 取 利 息 及 び 配 当 金	8,255		6,193		△2,062
支 払 利 息	△393		△412		△19
そ の 他 一 純 額	△7,421		△9,969		△2,548
計	441	0.1	△4,188	△0.5	△4,629
税 引 前 当 期 純 利 益	207,844	20.0	166,642	16.5	△41,202
法 人 税 等	72,547	7.0	56,034	5.6	△16,513
少 数 株 主 持 分 損 益	4,047	0.4	3,964	0.3	△83
当 期 純 利 益	131,250	12.6	106,644	10.6	△24,606

(注) 平成19年12月期第1四半期及び平成20年12月期第1四半期の包括利益(資本取引以外の資本勘定の増減)は、それぞれ184,096百万円(増加)、409百万円(増加)となります。

### (2) 比較連結売上高明細表

(単位 百万円)

区 分	平成19年12月期 (平成19年1月1日～ 平成19年3月31日)		平成20年12月期 (平成20年1月1日～ 平成20年3月31日)		平成20年12月期 平成19年12月期 %
	金 額	構 成 比 %	金 額	構 成 比 %	
事 務 機	715,391	69	691,786	69	96.7
オフィスイメージング機器	305,562	29	287,524	29	94.1
コンピュータ周辺機器	383,097	37	379,509	38	99.1
ビジネス情報機器	26,732	3	24,753	2	92.6
カ メ ラ	222,443	21	218,995	22	98.4
光 学 機 器 及 び そ の 他	101,959	10	96,757	9	94.9
合 計	1,039,793	100	1,007,538	100	96.9
国 内	232,459	22	227,781	23	98.0
海 外	807,334	78	779,757	77	96.6
米 州	306,624	30	270,664	27	88.3
欧 州	337,791	32	337,116	33	99.8
そ の 他	162,919	16	171,977	17	105.6

(注) 1. 事業の種類別セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

事務機：オフィスイメージング機器：オフィスネットワーク複合機、カラーネットワーク複合機、パーソナル複合機、

オフィス複写機、カラー複写機、パーソナル複写機等

コンピュータ周辺機器：レーザビームプリンタ、インクジェット複合機、単機能インクジェットプリンタ、イメージスキャナ等

ビジネス情報機器：コンピュータ、ハンディターミナル、ドキュメントスキャナ、電卓等

カメラ：デジタル一眼レフカメラ、デジタルコンパクトカメラ、交換レンズ、デジタルビデオカメラ等

光学機器及びその他：半導体用露光装置、液晶用露光装置、放送局用テレビレンズ、医療画像記録機器、大判プリンタ、磁気ヘッド、マイクロモータ等

2. 地域の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

米 州：米国、カナダ、中南米諸国 / 欧 州：イギリス、ドイツ、フランス、オランダ / その他：アジア、中国、オセアニア

(3) 事業の種類別セグメント情報

(単位 百万円)

		平成19年12月期 (平成19年1月1日～ 平成19年3月31日)		平成20年12月期 (平成20年1月1日～ 平成20年3月31日)		増 減	
		金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)
事務機	1. 売上高						
	1) 外部顧客向け	715,391		691,786		△23,605	△3.3
	2) セグメント間	—		—		—	—
	計	715,391	100.0	691,786	100.0	△23,605	△3.3
	2. 営業費用	538,880	75.3	528,607	76.4	△10,273	△1.9
	営業利益	176,511	24.7	163,179	23.6	△13,332	△7.6
カメラ	1. 売上高						
	1) 外部顧客向け	222,443		218,995		△3,448	△1.6
	2) セグメント間	—		—		—	—
	計	222,443	100.0	218,995	100.0	△3,448	△1.6
	2. 営業費用	161,913	72.8	173,269	79.1	11,356	7.0
	営業利益	60,530	27.2	45,726	20.9	△14,804	△24.5
光学機器 及びその他	1. 売上高						
	1) 外部顧客向け	101,959		96,757		△5,202	△5.1
	2) セグメント間	51,659		56,215		4,556	8.8
	計	153,618	100.0	152,972	100.0	△646	△0.4
	2. 営業費用	135,626	88.3	147,642	96.5	12,016	8.9
	営業利益	17,992	11.7	5,330	3.5	△12,662	△70.4
消去 又は全社	1. 売上高						
	1) 外部顧客向け	—		—		—	—
	2) セグメント間	△51,659		△56,215		△4,556	—
	計	△51,659	—	△56,215	—	△4,556	—
	2. 営業費用	△4,029	—	△12,810	—	△8,781	—
	営業利益	△47,630	—	△43,405	—	4,225	—
連 結	1. 売上高						
	1) 外部顧客向け	1,039,793		1,007,538		△32,255	△3.1
	2) セグメント間	—		—		—	—
	計	1,039,793	100.0	1,007,538	100.0	△32,255	△3.1
	2. 営業費用	832,390	80.1	836,708	83.0	4,318	0.5
	営業利益	207,403	19.9	170,830	17.0	△36,573	△17.6

(注) 営業費用のうち「消去又は全社」に含めた配賦不能営業費用の金額は平成19年12月期第1四半期及び平成20年12月期第1四半期においてそれぞれ47,630百万円、43,295百万円であり、その主な内容は、親会社の基礎的研究費及び本社機能に係る費用であります。



(4) 比較連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目		平成19年12月期 (平成19年12月31日現在)	平成20年12月期 (平成20年3月31日現在)	増 減
資 産 の 部	流動資産	(2,608,787)	(2,272,594)	(△336,193)
	現金及び現金同等物	944,463	707,669	△236,794
	短期投資	20,499	20,865	366
	売上債権	794,240	679,630	△114,610
	たな卸資産	563,474	581,769	18,295
	前払費用及びその他の流動資産	286,111	282,661	△3,450
	固定資産	(1,903,838)	(1,938,664)	(34,826)
	長期債権	15,239	14,648	△591
	投資資産	90,086	124,023	33,937
	有形固定資産	1,364,702	1,367,973	3,271
	その他の資産	433,811	432,020	△1,791
	資産合計	4,512,625	4,211,258	△301,367
	負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 の 部	流動負債	(1,256,705)	(1,054,104)
短期借入金及び1年以内に返済する長期債務		18,317	16,517	△1,800
買入債務		514,226	496,656	△17,570
未払法人税等		150,726	70,850	△79,876
未払費用		357,525	303,209	△54,316
その他の流動負債		215,911	166,872	△49,039
固定負債		(110,714)	(103,026)	(△7,688)
長期債務		8,680	10,368	1,688
未払退職及び年金費用		44,710	41,901	△2,809
その他の固定負債		57,324	50,757	△6,567
負債合計		(1,367,419)	(1,157,130)	(△210,289)
少数株主持分		222,870	207,361	△15,509
資本及び資本剰余金		(2,922,336)	(2,846,767)	(△75,569)
資本金	174,698	174,698	-	
資本剰余金	402,991	402,675	△316	
利益剰余金合計	(2,766,163)	(2,797,144)	(30,981)	
利益準備金	46,017	51,941	5,924	
その他の利益剰余金	2,720,146	2,745,203	25,057	
その他の包括利益(損失)累計額	34,670	△71,565	△106,235	
自己株式	△456,186	△456,185	1	
負債・少数株主持分及び資本合計	4,512,625	4,211,258	△301,367	

平成19年12月31日

平成20年3月31日

- (注) 1. 貸倒引当金 14,547 12,938  
 2. 減価償却累計額 1,594,374 1,617,247  
 3. その他の包括利益(損失)累計額内訳  
   為替換算調整額 22,796 △83,670  
   未実現有価証券評価損益 6,287 4,090  
   金融派生商品損益 △849 2,434  
   年金債務調整額 6,436 5,581  
 4. 従来、個別に表示していた定期預金及び有価証券については、当連結会計年度より短期投資に組替再表示しております。

(5) 比較連結資本勘定計算書

(単位 百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益剰余金			その他の包 括利益(損 失)累計額	自己株式	資本合計
			利益準備金	その他の 利益剰余金	利益剰余金 合計			
平成19年12月期 (平成19年1月1日～平成19年3月31日) 前々期末残高	174,603	403,510	43,600	2,368,047	2,411,647	2,718	△5,872	2,986,606
EITF06-2号適用による会計方針 の変更に伴う累積的影響額				△2,204	△2,204			△2,204
-税効果調整後 連結子会社による資本取引 配当金		△4		△66,582	△66,582			△4 △66,582
利益準備金への振替			1,680	△1,680	-			-
包括利益								
当期純利益				131,250	131,250			131,250
その他の包括利益(損失)								
-税効果調整後 為替換算調整額						△127		△127
未実現有価証券評価損益						△2,209		△2,209
金融派生商品損益						2,274		2,274
年金債務調整額						52,908		52,908
当期包括利益								184,096
自己株式取得-純額		3					△200,104	△200,101
前年同期末残高	174,603	403,509	45,280	2,428,831	2,474,111	55,564	△205,976	2,901,811
平成20年12月期 (平成20年1月1日～平成20年3月31日) 前期末残高	174,698	402,991	46,017	2,720,146	2,766,163	34,670	△456,186	2,922,336
連結子会社による資本取引 配当金		△312		△75,663	△75,663			△312 △75,663
利益準備金への振替			5,924	△5,924	-			-
包括利益								
当期純利益				106,644	106,644			106,644
その他の包括利益(損失)								
-税効果調整後 為替換算調整額						△106,466		△106,466
未実現有価証券評価損益						△2,197		△2,197
金融派生商品損益						3,283		3,283
年金債務調整額						△855		△855
当期包括利益								409
自己株式取得-純額		△4					1	△3
当期末残高	174,698	402,675	51,941	2,745,203	2,797,144	△71,565	△456,185	2,846,767

(6) 比較連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	平成19年12月期 (平成19年1月1日～ 平成19年3月31日)	平成20年12月期 (平成20年1月1日～ 平成20年3月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
当期純利益	131,250	106,644
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	64,433	82,201
固定資産売却損	1,338	3,685
法人税等繰延税額	△528	△7,591
売上債権の減少	82,451	71,298
たな卸資産の増加	△29,776	△24,585
買入債務の増加(△減少)	△2,999	4,732
未払法人税等の減少	△54,284	△78,470
未払費用の減少	△18,579	△36,112
未払(前払)退職及び年金費用の減少	△4,209	△2,783
その他ー純額	△16,287	△11,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,810	107,489
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産購入額	△118,912	△136,165
固定資産売却額	1,546	710
売却可能有価証券購入額	△1,744	△3,833
売却可能有価証券売却額及び償還額	1,069	4,011
定期預金の増加	△2,241	△204
子会社買収額(取得現金控除後)	△3,082	△209
投資による支払額	△1,474	△44,111
その他ー純額	645	△9,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,193	△189,483
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期債務による調達額	742	3,400
長期債務の返済額	△1,462	△1,175
短期借入金の増加(△減少)	86	△2,632
配当金の支払額	△66,582	△75,663
自己株式取得ー純額	△200,101	△3
その他ー純額	△2,277	△8,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,594	△84,877
為替変動の現金及び現金同等物への影響額	323	△69,923
現金及び現金同等物の純増減額	△240,654	△236,794
現金及び現金同等物の期首残高	1,155,626	944,463
現金及び現金同等物の期末残高	914,972	707,669

(7) 連結財務諸表作成の基本となる重要な事項

①連結範囲及び持分法の適用に関する事項

1. 連結子会社及び持分法適用関連会社の数

	平成19年12月期 (平成19年12月31日現在)	平成20年12月期 (平成20年3月31日現在)	増	減
連結子会社数	239	240		+ 1
持分法適用関連会社数	15	17		+ 2
合計	254	257		+ 3

異動状況

連結子会社 新規： 6社 除外： 5社  
持分法適用関連会社 新規： 2社

2. 連結子会社のうち、国内の証券市場に上場している会社

東証1部：キヤノンマーケティングジャパン(株)、キヤノン電子(株)、キヤノンファインテック(株)  
東証2部：キヤノンソフトウェア(株)  
大証2部：キヤノンマシナリー(株)  
JASDAQ：ニスカ(株)、トッキ(株)  
大証ヘラクレス：イーシステム(株)

②主要な会計方針

当社の連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成されております。セグメント情報については、「連結財務諸表規則」に基づいて作成しており、米国財務会計基準審議会基準書第131号に基づくセグメント別財務報告は行っておりません。

(8) その他

第1四半期財務・業績の概況に記載されている比較連結損益計算書、比較連結貸借対照表、比較連結資本勘定計算書及び比較連結キャッシュ・フロー計算書については、Ernst & Young ShinNihonによるレビューを受けております。レビューにおいては、米国公認会計士協会が発行した米国監査基準書第100号「中間財務情報」(「SAS100号」)のうち、該当する手続が実施されており、四半期連結財務情報は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則及び米国証券取引委員会の規則で要求される注記事項等の開示が省略されております。

# 平成20年12月期 第1四半期 決算補足資料(連結)

(平成20年1月1日～平成20年3月31日)

## 目次

	頁
1. 地域別・製品別売上高.....	補 1
2. 事業の種類別セグメント情報.....	補 2
3. 営業外収益及び費用.....	補 2
4. 製品別売上高構成比.....	補 3
5. 売上高現地通貨ベース伸び率(前年同期比較).....	補 3
6. 収益性.....	補 4
7. 為替影響.....	補 4
8. キャッシュ・フロー計算書.....	補 4
9. 研究開発費.....	補 5
10. 設備投資/減価償却費.....	補 5
11. たな卸資産.....	補 5
12. 有利子負債依存度.....	補 5
13. 海外生産比率.....	補 5
14. 従業員数.....	補 5

### 【注意事項】

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

## 1. 地域別・製品別売上高

(単位 百万円)

	平成19年12月期 (2007年)			平成20年12月期 (2008年)			対前年同期増減率		
	第1四半期 実績	上半期 実績	年間 実績	第1四半期 実績	上半期 予想	年間 予想	第1四半期	上半期	年間
<b>国内</b>									
事務機	146,863	302,719	636,534	155,500	-	-	+5.9%	-	-
オフィスイメージング機器	90,647	183,500	384,546	98,403	-	-	+8.6%	-	-
コンピュータ周辺機器	39,002	86,009	186,214	41,410	-	-	+6.2%	-	-
ビジネス情報機器	17,214	33,210	65,774	15,687	-	-	△8.9%	-	-
カメラ	39,644	72,887	149,892	33,348	-	-	△15.9%	-	-
光学機器及びその他	45,952	82,696	161,161	38,933	-	-	△15.3%	-	-
合計	232,459	458,302	947,587	227,781	468,300	989,400	△2.0%	+2.2%	+4.4%
<b>海外</b>									
事務機	568,528	1,143,868	2,299,008	536,286	-	-	△5.7%	-	-
オフィスイメージング機器	214,915	448,928	906,242	189,121	-	-	△12.0%	-	-
コンピュータ周辺機器	344,095	674,678	1,351,297	338,099	-	-	△1.7%	-	-
ビジネス情報機器	9,518	20,262	41,469	9,066	-	-	△4.7%	-	-
カメラ	182,799	446,687	1,002,771	185,647	-	-	+1.6%	-	-
光学機器及びその他	56,007	117,867	231,980	57,824	-	-	+3.2%	-	-
合計	807,334	1,708,422	3,533,759	779,757	1,651,700	3,580,600	△3.4%	△3.3%	+1.3%
<b>米州</b>									
事務機	227,770	447,382	888,189	193,781	-	-	△14.9%	-	-
オフィスイメージング機器	91,115	186,908	373,093	70,879	-	-	△22.2%	-	-
コンピュータ周辺機器	132,255	250,765	495,676	118,685	-	-	△10.3%	-	-
ビジネス情報機器	4,400	9,709	19,420	4,217	-	-	△4.2%	-	-
カメラ	64,143	165,340	390,768	64,266	-	-	+0.2%	-	-
光学機器及びその他	14,711	29,227	57,211	12,617	-	-	△14.2%	-	-
合計	306,624	641,949	1,336,168	270,664	570,500	1,239,200	△11.7%	△11.1%	△7.3%
<b>欧州</b>									
事務機	256,823	524,656	1,067,998	257,765	-	-	+0.4%	-	-
オフィスイメージング機器	98,957	208,054	423,925	94,415	-	-	△4.6%	-	-
コンピュータ周辺機器	153,593	308,183	626,236	159,236	-	-	+3.7%	-	-
ビジネス情報機器	4,273	8,419	17,837	4,114	-	-	△3.7%	-	-
カメラ	70,992	176,795	388,651	69,091	-	-	△2.7%	-	-
光学機器及びその他	9,976	20,928	42,637	10,260	-	-	+2.8%	-	-
合計	337,791	722,379	1,499,286	337,116	725,900	1,557,800	△0.2%	+0.5%	+3.9%
<b>その他</b>									
事務機	83,935	171,830	342,821	84,740	-	-	+1.0%	-	-
オフィスイメージング機器	24,843	53,966	109,224	23,827	-	-	△4.1%	-	-
コンピュータ周辺機器	58,247	115,730	229,385	60,178	-	-	+3.3%	-	-
ビジネス情報機器	845	2,134	4,212	735	-	-	△13.0%	-	-
カメラ	47,664	104,552	223,352	52,290	-	-	+9.7%	-	-
光学機器及びその他	31,320	67,712	132,132	34,947	-	-	+11.6%	-	-
合計	162,919	344,094	698,305	171,977	355,300	783,600	+5.6%	+3.3%	+12.2%
<b>合計</b>									
事務機	715,391	1,446,587	2,935,542	691,786	1,397,800	2,933,500	△3.3%	△3.4%	△0.1%
オフィスイメージング機器	305,562	632,428	1,290,788	287,524	617,900	1,290,000	△5.9%	△2.3%	△0.1%
コンピュータ周辺機器	383,097	760,687	1,537,511	379,509	729,900	1,543,700	△0.9%	△4.0%	+0.4%
ビジネス情報機器	26,732	53,472	107,243	24,753	50,000	99,800	△7.4%	△6.5%	△6.9%
カメラ	222,443	519,574	1,152,663	218,995	523,000	1,179,300	△1.6%	+0.7%	+2.3%
光学機器及びその他	101,959	200,563	393,141	96,757	199,200	457,200	△5.1%	△0.7%	+16.3%
合計	1,039,793	2,166,724	4,481,346	1,007,538	2,120,000	4,570,000	△3.1%	△2.2%	+2.0%

2. 事業の種類別セグメント情報

(単位 百万円)

	平成19年12月期 (2007年)			平成20年12月期 (2008年)			対前年同期増減率		
	第1四半期 実績	上半期 実績	年間 実績	第1四半期 実績	上半期 予想	年間 予想	第1四半期	上半期	年間
<b>事務機</b>									
外部顧客に対する売上高	715,391	1,446,587	2,935,542	691,786	1,397,800	2,933,500	△3.3%	△3.4%	△0.1%
セグメント間の内部売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高 計	715,391	1,446,587	2,935,542	691,786	1,397,800	2,933,500	△3.3%	△3.4%	△0.1%
営業利益	176,511	335,471	650,261	163,179	309,400	659,200	△7.6%	△7.8%	+1.4%
営業利益率	24.7%	23.2%	22.2%	23.6%	22.1%	22.5%	-	-	-
<b>カメラ</b>									
外部顧客に対する売上高	222,443	519,574	1,152,663	218,995	523,000	1,179,300	△1.6%	+0.7%	+2.3%
セグメント間の内部売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高 計	222,443	519,574	1,152,663	218,995	523,000	1,179,300	△1.6%	+0.7%	+2.3%
営業利益	60,530	137,303	307,426	45,726	113,300	308,100	△24.5%	△17.5%	+0.2%
営業利益率	27.2%	26.4%	26.7%	20.9%	21.7%	26.1%	-	-	-
<b>光学機器及びその他</b>									
外部顧客に対する売上高	101,959	200,563	393,141	96,757	199,200	457,200	△5.1%	△0.7%	+16.3%
セグメント間の内部売上高	51,659	107,917	238,659	56,215	114,500	271,100	+8.8%	+6.1%	+13.6%
売上高 計	153,618	308,480	631,800	152,972	313,700	728,300	△0.4%	+1.7%	+15.3%
営業利益	17,992	21,385	21,080	5,330	11,900	45,800	△70.4%	△44.4%	+117.3%
営業利益率	11.7%	6.9%	3.3%	3.5%	3.8%	6.3%	-	-	-
<b>消去又は全社</b>									
外部顧客に対する売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セグメント間の内部売上高	△51,659	△107,917	△238,659	△56,215	△114,500	△271,100	-	-	-
売上高 計	△51,659	△107,917	△238,659	△56,215	△114,500	△271,100	-	-	-
営業利益	△47,630	△105,283	△222,094	△43,405	△110,600	△243,100	-	-	-
<b>連 結</b>									
外部顧客に対する売上高	1,039,793	2,166,724	4,481,346	1,007,538	2,120,000	4,570,000	△3.1%	△2.2%	+2.0%
セグメント間の内部売上高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高 計	1,039,793	2,166,724	4,481,346	1,007,538	2,120,000	4,570,000	△3.1%	△2.2%	+2.0%
営業利益	207,403	388,876	756,673	170,830	324,000	770,000	△17.6%	△16.7%	+1.8%
営業利益率	19.9%	17.9%	16.9%	17.0%	15.3%	16.8%	-	-	-

3. 営業外収益及び費用

(単位 百万円)

	平成19年12月期 (2007年)			平成20年12月期 (2008年)			対前年同期増減		
	第1四半期 実績	上半期 実績	年間 実績	第1四半期 実績	上半期 予想	年間 予想	第1四半期	上半期	年間
金融収支	7,862	16,572	31,348	5,781	9,200	16,500	△2,081	△7,372	△14,848
為替差損益	△10,917	△10,520	△31,943	△10,576	△9,000	△15,400	+341	+1,520	+16,543
持分法投資損益	2,654	5,285	5,634	164	△100	1,000	△2,490	△5,385	△4,634
その他	842	5,928	6,676	443	3,900	12,900	△399	△2,028	+6,224
合計	441	17,265	11,715	△4,188	4,000	15,000	△4,629	△13,265	+3,285

#### 4. 製品別売上高構成比

	平成19年12月期 (2007年)			平成20年12月期 (2008年)		
	第1四半期 実績	上半期 実績	年間 実績	第1四半期 実績	上半期 予想	年間 予想
<b>オフィスイメージング機器</b>						
白黒複写機	46%	46%	45%	42%	41%	41%
カラー複写機	35%	35%	35%	36%	37%	37%
その他	19%	19%	20%	22%	22%	22%
<b>コンピュータ周辺機器</b>						
レーザビームプリンタ	77%	75%	73%	75%	74%	73%
インクジェットプリンタ	22%	24%	26%	24%	25%	26%
その他	1%	1%	1%	1%	1%	1%
<b>ビジネス情報機器</b>						
パーソナルコンピュータ	63%	62%	62%	63%	62%	61%
その他	37%	38%	38%	37%	38%	39%
<b>カメラ</b>						
デジタルカメラ	75%	76%	76%	75%	76%	77%
ビデオカメラ	8%	8%	8%	7%	8%	8%
交換レンズ他	17%	16%	16%	18%	16%	15%
<b>光学機器及びその他</b>						
半導体機器	51%	50%	46%	46%	47%	49%
その他	49%	50%	54%	54%	53%	51%

\* 従来「オフィスイメージング機器」の「白黒複写機」に含めて開示していたアナログのパーソナル複写機に係る数値を、「オフィスイメージング機器」の「その他」に含めて開示しております。これに伴い過年度の数値も新表示区分に合わせて組替表示を行っております。  
\* 従来「銀塩カメラ・レンズ」と表示していたセグメントの名称を「交換レンズ他」に変更しております。

#### 5. 売上高現地通貨ベース伸び率(前年同期比較)

	平成20年12月期 (2008年)		
	第1四半期 実績	上半期 予想	年間 予想
<b>事務機</b>			
国内	+5.9%	-	-
海外	+2.1%	-	-
合計	+2.9%	+4.8%	+8.2%
<b>カメラ</b>			
国内	△15.9%	-	-
海外	+9.2%	-	-
合計	+4.7%	+9.5%	+11.1%
<b>光学機器及びその他</b>			
国内	△15.3%	-	-
海外	+8.8%	-	-
合計	△2.0%	+2.7%	+19.8%
<b>合計</b>			
国内	△2.0%	+2.2%	+4.4%
海外	+4.2%	+6.7%	+11.5%
米州	+0.5%	+4.3%	+7.6%
欧州	+2.2%	+5.1%	+9.3%
その他	+15.4%	+14.7%	+23.6%
合計	+2.8%	+5.7%	+10.0%



6. 収益性

	平成19年12月期 (2007年)		平成20年12月期 (2008年)	
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	年間予想
株主資本純利益率(ROE)	17.8%	16.5%	14.8%	16.4%
総資本純利益率(ROA)	11.9%	10.8%	9.8%	10.8%

7. 為替影響

(1)為替レート

(単位 円)

	平成19年12月期 (2007年)		平成20年12月期 (2008年)		
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	第2-4四半期予想	年間予想
円/US\$	119.33	117.50	104.78	100.00	101.05
円/Euro	156.45	161.41	157.59	157.00	157.13

(2)売上影響額(前年同期比較)

(単位 億円)

	平成20年12月期 (2008年)	
	第1四半期実績	年間予想
US\$	△573	△2,911
Euro	+12	△314
その他通貨	△3	△23
合計	△564	△3,248

(3)1円の変動による影響額

(単位 億円)

	平成20年12月期 (2008年)
	第2-4四半期予想
売上高への影響額	
US\$	138
Euro	60
営業利益への影響額	
US\$	79
Euro	44

8. キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	平成19年12月期 (2007年)		平成20年12月期 (2008年)	
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	年間予想
営業活動によるキャッシュ・フロー				
当期純利益	131,250	488,332	106,644	500,000
減価償却費	64,433	341,694	82,201	370,000
その他	△42,873	9,243	△81,356	△125,000
合計	152,810	839,269	107,489	745,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,193	△432,485	△189,483	△490,000
フリーキャッシュ・フロー	28,617	406,784	△81,994	255,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,594	△604,383	△84,877	△169,500
為替変動の現金及び現金同等物への影響額	323	△13,564	△69,923	△70,000
現金及び現金同等物の純増減額	△240,654	△211,163	△236,794	15,500
現金及び現金同等物の期末残高	914,972	944,463	707,669	960,000

### 9. 研究開発費

(単位 百万円)

	平成19年12月期 (2007年)		平成20年12月期 (2008年)	
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	年間予想
事務機	24,136	122,570	25,884	-
カメラ	11,260	44,304	11,904	-
光学機器及びその他	37,534	201,387	41,767	-
合計	72,930	368,261	79,555	387,000
売上高研究開発費比率	7.0%	8.2%	7.9%	8.5%

### 10. 設備投資/減価償却費

(単位 百万円)

	平成19年12月期 (2007年)		平成20年12月期 (2008年)	
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	年間予想
設備投資合計	93,652	428,549	89,435	435,000
減価償却費合計	64,433	341,694	82,201	370,000

### 11. たな卸資産

#### (1)期末残高

(単位 百万円)

	平成19年12月期 (2007年)	平成20年12月期 (2008年)	増減
	12月31日現在	3月31日現在	
事務機	277,444	277,874	+430
カメラ	107,406	121,474	+14,068
光学機器及びその他	178,624	182,421	+3,797
合計	563,474	581,769	+18,295

#### (2)回転日数

(単位 日)

	平成19年12月期 (2007年)	平成20年12月期 (2008年)	増減
	12月31日現在	3月31日現在	
事務機	34	34	0
カメラ	31	38	+7
光学機器及びその他	169	173	+4
合計	44	47	+3

\*回転日数は、直前6ヶ月の売上高に基づいて算出しています。

### 12. 有利子負債依存度

	平成19年12月期 (2007年)	平成20年12月期 (2008年)	差異
	12月31日現在	3月31日現在	
有利子負債 / 総資本	0.6%	0.6%	0.0%

### 13. 海外生産比率

	平成19年12月期 (2007年)	平成20年12月期 (2008年)
	年間実績	第1四半期実績
海外生産比率	40%	41%

### 14. 従業員数

(単位 人)

	平成19年12月期 (2007年)	平成20年12月期 (2008年)	増減
	12月31日現在	3月31日現在	
国内	55,227	55,641	+414
海外	76,125	76,543	+418
合計	131,352	132,184	+832